



情報メディア センター No.13 2012.10 ニュース

図書館システム今昔

摂南大学 図書館

図書課長 松浦 靖

情報の検索が、ネットワークを通じて容易にできるのが当たり前の時代になりましたが、ここに至るまでの図書館の経緯と、現在学内で利用可能なデータベースについて述べたいと思います。

<図書館の情報化>

図書の情報がコンピュータで扱えるデータとなるまでは、目的の図書を探すにはカード目録に頼っていました。カード目録は紙に書かれた図書情報で、利用者は書名や著者名の五十音順（あるいはABC順）に並べられたカードを繰って目的の図書を探すという状況でした。カード目録には、出版者、請求記号、出版年なども記載されていますが、これらの情報をもとに絞り込んでカードを探し出すということはできませんでした。このように図書の検索は、図書館側で用意したカード目録の並べ方に委ねられていたのです。

本学図書館は、大学開学時には2号館3階で開館しました。（資料1）開館翌年から学術雑誌発注管理システムがバッチ処理でスタート（資料2）するなど、図書館の歴史は、コンピュータ化とともにあります。1982年4月には自館（学園図書館）で開発した図書館総合情報管理システム（通称 TLIS[トリス]）をオンライン漢字処理で稼働させ、それまでバッチ処理で行っていた業務を集約するとともに、図書の所蔵検索をコンピュータで可能にしました。このことにより、カード目録による図書の検索から飛躍的に利便性が向上しました。

当時このシステムは先進的なもので、1985年度の私立大学図書館協会第46回総大会・研究会において、開発者が「私立大学図書館における機械化の展望」と題して講演するほどでした。

自館開発の TLIS は、プログラムの改良を重ねながら19年にもわたって使い続けられました。しかしな

摂南大学図書館の沿革

1975年	摂南大学開設 学校法人大阪工業大学図書館寝屋川図書室として 2号館3階で開館
1978年	3号館へ移転
1979年	学校法人大阪工業大学図書館寝屋川分館に改称
1981年	学校法人大阪工業大学図書館摂南大学図書館に改称
1982年	7号館1階、5階、6階に移転
1983年	枚方分館設置
1984年	法人図書館から独立分離 「摂南大学図書館（本館・枚方分館）」
1988年	7号館3、4階を図書館に改造（本館）
1994年	枚方分館に閲覧室を増設
2000年	枚方分館拡張
2006年	10号館地下1階～3階に移転（本館）
2011年	枚方分館改装、拡張

資料1 沿革

図書館コンピュータ化の経緯

1976年10月	学術雑誌発注管理システム
1977年4月	学術雑誌受入管理システム（マークカード方式）
1979年4月	収書統計システム
1980年7月	蔵書棚卸システム
1981年2月	図書発注受入管理システム（一括購入図書）
1981年8月	「図書館総合情報管理システム」開発着手
1981年11月	プログラミング、データ入力開始
1982年2月	システムテスト
1982年4月	図書館総合情報管理システム（TLIS）稼動 （オンライン漢字処理）
1985年6月	端末装置をパーソナルコンピュータに変更
1986年10月	学術情報センター（現 国立情報学研究所）ネットワークに接続
2001年4月	富士通㈱パッケージソフト「iLis-wave」導入
2007年4月	「iLiswave-J」にバージョンアップ
2012年9月	「iLiswave-J V2」にバージョンアップ

資料2 経緯

がら、大型コンピュータと直接結ばれた専用端末での処理の限界やインターネットの普及によるネットワークへの対応などのため、2001年4月に富士通(株)のパッケージソフト「iLis-wave」を導入しました。図書館業務の効率化とともに、図書資料の検索がインターネットを通じて館外でも可能になるなど利用者環境の改善を図ることができました。パッケージソフトにはつきもののバージョンアップを「iLis-wave」も重ね、2012年9月に「iLiswave-J V2」が稼動しました。利用者レビューが投稿できるようになるなど機能が強化されて

います。また、同時に図書館ポータルサイト(資料3)も更新し、学園各図書館の蔵書とともに国立国会図書館や学術機関リポジトリなどの情報を一括して検索することが可能になりました。

＜データベース＞

世界中の情報が簡単に手に入るようになり、カード目録の時代とは桁違いの情報量ですが、その情報を体系的に整理していて、信頼性の高い情報源としてデータベースがあります。データベースの情報は、通常一般的な検索サイトで検索されることはなく、専用のサイトからアクセスする必要があります。現在、図書館で契約しているデータベースは次のとおりです。学生の皆さんは、レポート作成や就活に大いに利用してください。なお、各サイトのURLは図書館ホームページに掲載しています。

・ジャパンナレッジプラスN

日本大百科全書、日本国語大辞典、ランダムハウス英和大辞典、現代用語の基礎知識、デジタル化学辞典、週刊エコノミスト、会社四季報、東洋文庫など40以上のコンテンツを一括して検索することができます。(同時アクセス4)

・ブリタニカ・オンライン・ジャパン

1768年にスコットランドで刊行されて以来、世界で高い評価と信頼を得ている Encyclopædia Britannica をもとに編集された「ブリタニカ国際大百科事典」のオンライン版で、「ブリタニカ国際年鑑」も含まれています。英語版も利用可能です。(同時アクセス無制限)

・日経テレコン21

日経四紙(日本経済新聞・日経産業新聞・日経MJ・日経金融新聞)、企業情報、人事情報、地域経済・都市データなどの検索、閲覧が可能です。(同時アクセス無制限)

・理科年表プレミアム

「理科年表」の1925年創刊号から最新号までのデータベースです。表データをテキストデータ(CSV形式)でダウンロード可能で、表計算ソフトで活用できます。(同時アクセス無制限)

・聞蔵Ⅱビジュアル

朝日新聞の1985年以降の記事、1945年～1989年の縮刷版、週刊朝日、AERA、知恵蔵のデータベースです。2005年11月以降の朝日新聞記事は、切り抜きイメージをPDFファイルで見ることができます。(同時アクセス2)

・官報情報検索サービス

昭和22年5月3日・日本国憲法施行日以降～当日発行分までの官報が検索できます。

(ご利用の際は図書館カウンターに申し出てください。)

[上記データベースに加えて、電子ブックも約850タイトル導入しています。]

情報の電子化がこれからも進んでいくでしょうが、ピンポイントの情報検索だけではなく、図書館にある本を目的もなく眺めていると、思いもよらなかった出会いがあるかもしれません。電子情報と本の双方を活用して豊かな知識を身につけてください。



資料3 図書館ポータルサイト

前号で英語学習システム ATRCALL について、紹介しました。今回は、CALL 教室で使える英語学習ツール「ソフトレコーダ」を紹介します。ソフトレコーダは、CALL 教室にインストールされている英語学習用ソフトウェアです。主にスピーキング、スクリーンレッスン、リスニング、ドリルスタディ、ライティング、音声評定、リーディング、リズムチェックのツールがありますが、そのうち、自習用で使えるコンテンツの活用方法を紹介します。自習は CALL 教室4のみ利用可能ですが、授業が優先です。授業期間中の自習時間帯は教室の入り口に掲示しています。授業期間外の自習利用時間については、Web ページに掲載しています。ソフトレコーダの操作方法是、CALL 教室4のとおりにあります CALL 準備室に問い合わせてください。



ソフトレコーダ

デスクトップの
ショートカット
から起動

(1)スピーキング→

メニュー画面



←(2)スクリーンレッスン

←(3)ドリルスタディ

←(4)音声評定

←(5)リズムチェック

(1)
手本
→
練習者
→



(1) **スピーキング**では、手本を繰り返し聞き、話す練習ができます。手本に合わせて英文、日本語訳を表示／非表示にすることができます。自分の発音を録音して、聞くことができます。再生のスピードをコントロールすることができます。

学習できる教材名

- TOEFL TEST ●TOEIC Bridge TEST
- 英会話シリーズ ●英検 2 級 ●英検準 2 級

(2)
映像
→



(2) **スクリーンレッスン**では、映像を見ながら、聞き取ります。英文が表示されますので、聞き取る練習ができます。再生のスピードをコントロールすることができます。

学習できる教材名

- カサブランカ ●レベッカ ●ローマの休日

(4)
レクチャー



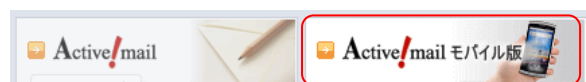
(3) **ドリルスタディ**では、英文を聞いて質問に回答できます。

(4) **音声評定**では、単語、文章の発音レッスンができます。手本を再生して、発音練習をしたり、スピードをコントロールして再生したり、自分の発音を録音してアドバイスやレクチャーを表示させることで、繰り返し練習ができます。

(5) **リズムチェック**では、単語、文章の発音リズムの手本を再生して、練習できます。

モバイル機器で Active!Mail

携帯電話・スマートフォン・タブレットパソコンから Active!mail にアクセスする場合は、モバイル用入口からログインしてください。PC 版入口からログインしてもメールは読めますが、一部使用できない機能がありますので、気を付けてください。モバイル用入口は、摂南大学 HP の「在学生の方へ」の「Active!mail モバイル版」から入れます。



PC 版入口

モバイル版入口

Active! mail
モバイル版ログイン

ユーザID:

パスワード:

モバイル版ログイン画面

パスワードリマインダ機能

センターでは、パソコンのログインパスワードを初期値から変更することを呼びかけていますが、パスワードの変更と同時に、パスワードリマインダ設定をしておくことを推奨します。

パスワードリマインダは、パスワードを忘れてしまった場合、「秘密の質問」に答えることで新パスワードを再設定できる機能です。リマインダ設定は、教室 PC のデスクトップのショートカット、オンラインマニュアルからどうぞ。

パスワードリマインダ

利用者ID	
利用者IDを入力してください。	
秘密の質問1	一番好きなスポットは？
回答1	
秘密の質問2	嫌いな食べ物？
回答2	
秘密の質問3	一番好きな映画は？
回答3	

アンケートを実施します

センターでは11月に情報機器利用についてのアンケートを実施します。実施は、授業中にプリントを配布して行う方法と Moodle に入力する方法の2通りを予定していますが、1人1回の回答ですので、Moodle で回答した場合はプリントでの回答は不要です。ご協力の程、よろしくお願いします。実施期間は、右のページにてお知らせいたします。



情報メディアセンター学生窓口

学生の技術サポートを行っています。Word、Excel、PowerPoint 等のアプリケーションソフトの操作方法やプリンタ等機器についての問い合わせの他、変更したパスワードを忘れたときなどの手続きは学生窓口にお越しください。

学生技術サポートデスク (10号館4階)

CALL 準備室 (10号館6階)

情報処理演習室 管理室(枚方キャンパス5号館3階)

摂南大学

情報メディアセンター

事務室(10号館4階)

<http://www.setsunan.ac.jp/~center/>

072(839)9113 〒572-8508

寝屋川市池田中町 17-8

center@ofc.setsunan.ac.jp